

令和元年9月定例会 総務県民生活委員会の概要

日 時 令和 元年10月 7日(月) 開会 午前10時 2分  
閉会 午前11時39分

場所 第3委員会室

出席委員 浅井明委員長

杉島理一郎副委員長

宮崎吾一委員、日下部伸三委員、立石泰広委員、中屋敷慎一委員、

小谷野五雄委員、醍醐清委員、東間亜由子委員、田並尚明委員、

塩野正行委員、柳下礼子委員

欠席委員 なし

説明者 [総務部関係]

北島通次総務部長、岩田英久税務局長、山崎明弘人財政策局長、

秋山栄一契約局長、表久仁和参事兼人事課長、原口誠治参事兼税務課長、

穴戸佳子職員健康支援課長、中村哲哉文書課長、大久保修次学事課長、

若林裕樹個人県民税対策課長、影沢政司管財課長、黒坂和実統計課長、

豊野和美総務事務センター所長、小山和彦行政監察幹、辻幸二入札課長、

小高巖入札審査課長、三橋亨県営競技事務所長

洪澤陽平秘書課長

武藤彰人事委員会事務局長、

諸角文人事委員会事務局副事務局長兼総務給与課長、益城英一任用審査課長

[県民生活部関係]

矢嶋行雄県民生活部長、山野均スポーツ局長、大浜厚夫県民生活部副部長、

矢島謙司県民生活部副部長、谷川裕保参事兼防犯・交通安全課長、

田沢純一広聴広報課長、谷澤正行共助社会づくり課長、木村勇人権推進課長、

浅見健二郎文化振興課長、和田公雄国際課長、岸田正寿青少年課長、

小谷野幸也スポーツ振興課長、

都丸久ラグビーワールドカップ2019大会課長、

斎藤勇一オリンピック・パラリンピック課長、藤岡麻里男女共同参画課長、

関口修宏消費生活課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

なし

2 請願

なし

## 所管事務調査

### 1 総務部関係

- ( 1 ) 幼児教育・保育の無償化について
- ( 2 ) 豚コレラの防疫作業従事職員の派遣状況等について

### 2 県民部関係

ラグビーワールドカップ2019の運営状況について

## 報告事項

### 1 総務部関係

総務事務センターにおけるA I ・ R P Aの活用状況について

### 2 県民生活部関係

指定管理者に係る平成30年度事業報告書及び令和元年度事業計画書について  
( 埼玉県県民活動総合センター )

---

**【所管事務に関する質問（幼児教育・保育の無償化について）】**

**田並委員**

10月から幼児教育・保育の無償化が実施されたが、朝鮮学校の幼稚園は対象外となっている。その理由、考え方を教えてもらいたい。

**学事課長**

幼児教育・保育の無償化は国が法律を改正し制度を導入した。埼玉朝鮮初中級学校は各種学校ということで、国は対象外としている。

**田並委員**

- 1 国からの閣僚合意に基づいた通知に、「幼児教育類似施設に通う保育の必要性のない子供については、今回の無償化の対象とはなっていませんが、こうした施設のうち、各自治体において子育て支援の重要な拠点と判断する施設の支援についても、先の閣僚合意の考え方を踏まえ、積極的に検討頂きたい」とある。この通知についての県の考え方を教えてもらいたい。
- 2 国際条約である「子どもの権利条約」は、日本においては法的拘束力を持つことになっている。「教育についての子供の権利を認めるものとし、いかなる差別もなしにこの条約に定める権利を尊重し及び確保する」となっており、県議会では、1996年に全国に先駆けて当該条約の普及啓発を推進する決議を全会一致で採択している。無償化の対象としないことは、条約を批准していることと矛盾するのではないか。

**学事課長**

- 1 幼児教育類似施設について国は明確に二つに分けて考えている。一つは各種学校として教育を行っているものである。もう一つは幼稚園の設置基準を満たさず認可は受けていないが、幼稚園に準ずる教育を行っている施設である。各種学校については萩生田文部科学大臣が記者会見で対象外であると明確に発言している。一方で、設置基準を満たしていないが、歴史的な経緯があって地域や保護者のニーズに応えて存続している施設については考慮し、自治体の意見を聞きながら、国としては支援の範囲を広げていく努力をしていきたいと言っている。県としては国がどのような検討をしていくのか見ていきたい。
- 2 幼児教育・保育の無償化は、国が法令によって定めているものである。条約との関係については、県は意見を申し上げる立場ではないと考えている。

---

**【所管事務に関する質問（豚コレラの防疫作業従事職員の派遣状況等について）】**

**立石委員**

- 1 県職員の派遣人数、日数について伺う。
- 2 専門ではない職員も、暑い中防護服を着て作業をした。現地での状況や職員からの声はどのようなものがあったのか。

**参事兼人事課長**

- 1 今回は獣医師だけの対応ではなく、当初の計画に沿って一般職員も動員された。2か

所で作業し、日数は合計で8日間、人数は延べ約1,200人であった。

- 2 現地での作業内容について、殺処分は獣医師が行うが、豚を追い込んだり、死んだ豚を埋める作業や、豚舎にこびりついている汚れを取ってから消毒するなどの作業を行った。かなりの大変な作業だったと聞いている。「防護服を二重に着込んで密閉するのでかなり暑かった、かなりの重労働だった」という声を聞いている。

### **立石委員**

職員の健康的な部分やメンタルな部分への対応状況について伺う。

### **参事兼人事課長**

健康面については、主に保健医療部の医師や保健師などが現地に行って声を聞く対応をした。受診には至らなかったものの、暑さによる体調不良の訴えが18件あった。このほか、作業中に消毒液が目に入る、石灰でやけどをした等の現場での事故の報告を受けている。

### **職員健康支援課長**

作業に従事した心のケアも大切で、保健師による「心と身体健康相談窓口」を設け、電話や面談、メールなどによる相談を行っている。さらに、医師や臨床心理士による相談、24時間体制での電話健康相談サービス等の利用についても周知を図った。作業のストレスによる心身への影響が長引くことで、疾患の発症につながることもある。職員本人及び所属長と周囲の職員が早期に不調に気付けるように、業務従事後の健康管理について注意すべきポイントを、各所属長に情報を提供したところである。

### **立石委員**

保健師による健康相談等を行っているとのことだが、現時点で相談実績はどのくらいか。

### **職員健康支援課長**

現在、作業に従事した職員からの相談は1件だが、今後も、眠れないとか、いろいろな症状が出てくると思われるので、産業医とも連携し、引き続き職員のケアを行う。

---

## **【所管事務に関する質問（ラグビーワールドカップ2019の運営状況について）】**

### **中屋敷委員**

熊谷ラグビー場で行われた試合及びファンゾーンの入場者数はどうか。

### **ラグビーワールドカップ2019大会課長**

大会に先立って9月6日に行われた日本対南アフリカ戦が22,258人、9月24日のロシア対サモア戦が22,564人、9月29日のジョージア対ウルグアイ戦が24,895人で、この数字は歴代の熊谷ラグビー場の入場者数の最高を更新した。改修後スタジアムが大きくなって、満席の中で迎えられた。また、ファンゾーンは、熊谷市内で10日間行われる予定で、昨日までの9日間で累計56,167人、1日平均6,240人でキャパシティ的にもほぼ満員の状態が続いている。10月5日の日本対サモア戦では多くの方が来場されたため、一時入場制限を行うなど、場所的にも認知されて非常に人気が高まっている。さらに、くまがやドームでも試合日に「おもてなしエリア」を開催し、全市町村が参加して、県内の文化・芸能などを披露しており、2日間で26,700人、1日

当たり13,350人の方にお越しいただき、盛況であった。

### 中屋敷委員

試合に近隣の小中学生が来ていたが、世界に触れることは重要なことである。教育に資する部分ではどのくらい入場したのか。

### ラグビーワールドカップ2019大会課長

教育プログラムは、主に熊谷市が市内の全小中学生に、レガシーとして国際試合を間近かで見たいということで企画した。1日約5,000人、3日間で約15,000人が参加した。日中の試合は小学生、ナイターの試合は中学生と分けて対応した。また、県でも全市町村に照会し、深谷市、鴻巣市、小川町が数百人参加している。

### 中屋敷委員

非常に盛り上がっている中で、熊谷のファンゾーンは10月9日に終わってしまうのは残念だが、今後の対応はどうか。

### ラグビーワールドカップ2019大会課長

ファンゾーンについては、10月9日で10日目を迎え最後になるが、その後は、10月13日に日本対スコットランド戦を熊谷ラグビー場の大型映像を使って、また、11月2日の決勝戦には、熊谷市内のショッピングモールで、パブリックビューイングを行うこととしている。10月13日に日本がスコットランドに勝った場合、準々決勝進出となり、10月19日又は20日に準々決勝が行われるが、現在、パブリックビューイングを熊谷と県南地域で開催できないか、組織委員会などと調整している。

### 中屋敷委員

関心を高めている状況をラグビーだけに終わらせるのではなく、来年のオリパラへつなげる意味もある。そういったムーブメントにする状況を県として担っていく必要がある。その中で、非常に素晴らしいと思ったのは、バスの人員輸送体制である。たくさんのバスが来ていたが状況を伺いたい。

### ラグビーワールドカップ2019大会課長

熊谷ラグビー場は、最寄りのJR熊谷駅から約3.5キロメートル、歩くと50分かかかる。これが最大の課題と言われていたが、当日は、業者のバス約300台を用意し、埼玉県警の多大な協力もあり、熊谷駅からラグビー場までの直線を全て信号を青にすることで、通常はバスで15分程度かかるところを、早いと6分で到着することができた。6台連続で運用するという方策をとっているが、今のところ、非常にうまくいっている。SNSやスポーツライターのネット記事でも「熊谷の神対応」と書いていただいたり、また、ワールドラグビーの役員からは、「熊谷の輸送は、ワールドレベルではなく、ワールドリーディングだ」と、お褒めの言葉をいただいたと聞いている。残り1日あるが、しっかりと対応していく。

### 中屋敷委員

そうした知見というのが、来年のオリンピック・パラリンピックに生きてくるので県民生活部の中で情報の共有・精査をお願いしたい。(要望)